

令和4年度那須地区人権教育指導者一般研修ふれあい人権フォーラム（R4.12.8実施）

埼玉大学基盤教育研究センター准教授 渡辺 大輔 氏が、参加者からの質問に御回答くださいました。

質問 トイレや更衣室の使用について、多目的トイレが少ない学校での対応や配慮すべきことについて教えてください。また、男子のスカート着用についてどのように対応すべきか、カミングアウトによる差別や偏見への対応について、教師としてどうあるべきか、教えてください。

【渡辺氏】

トイレについて：

教職員トイレやあまり人が使わないトイレなどを当該生徒と共に探し、そこを性自認に合わせて使えるようにしたり、本人の生活実態（性表現や友だちとの関係）に合わせて使ったりするなどが考えられる。

更衣室について：

空き教室や保健室を使ったり、時間をずらして使ったり（授業に遅れる可能性あり）、更衣室にパーテーションなどで個室を複数作り、誰もが使えるようにするなどの工夫が考えられる。いずれにしても本人が一番安心できるのは何かということを話し合う。

登録上男性の生徒がスカートをはくことについて：

本人の希望に合わせてはけば良い。

多くの生徒が教員の許可を取らずに制服を着ているのと同様、この場合も教員の許可を取る必要はない。

いじめやからかいが起こったら、いじめる側を指導する。

希望を出すということはそれ相当の覚悟をすでにもっている。

制服の選択とカミングアウトは異なる。

社会規範とは異なる制服を選んだからといって、みんな（全員）にカミングアウトする必要はない。

誰にどのように言うかは本人が決めること。

周囲の仲の良い数人が知っているだけ、クラスメイトが知っているだけでも良いケースもあった。

教職員が他者に勝手に本人の性の状態を言ってはならない。

質問 SOGIにE(Gender Expression 性表現)が加わり SOGIE になったいきさつを教えてください。

【渡辺氏】

性表現（E）について：

いずれの性的指向、性自認であろうが（少数派であっても多数派であっても）、性表現も自由が尊重される必要がある。

性表現の方法は性的指向と性自認（SOGI）に連動しない。

いじめの実態でも触れたが、性表現が「らしさ」などの社会的性別規範から外れるといじめの対象となりやすい。

そういった実態から、性的指向と性自認（SOGI）だけではなく、性表現（E）の多様性も尊重することを謳う必要が出てきた。